

## 私たちの生き方が贈り物となるように

“わたしのもとに来なさい”  
(マタイ11,28).



現代に生きる私たちにも、イエスはおっしゃいます

イエスは、私たちのすべてを、あるがままに愛してください。能力や限界、心の中の望み、私たちが犯した失敗さえも!

そして、「私の言葉に信頼しなさい。それは、人を押し潰すようなものではなく、むしろ、人の心を喜びで満たす『軽くくびき』なのだから。」と約束されます。

**自分のことだけを考えるのではなく、毎日、自分の生き方が他の人への贈り物となるように努力することを、イエスの言葉は求めます。**

“疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう”  
(マタイ11,28).



**イエスはさらに「休ませてあげよう」とおっしゃいます。**

どのように、でしょうか？一つは、もし私たちが人生の中で、イエスを唯一、揺るがぬ土台として据えるならば、イエスの存在そのものが、私たちに深い平安を与えてくれることでしょう。そして私たちの日々の歩みを特別な光で照らし、たとえ、難しい状況におかれたとしても、人生には意味があると私たちに悟らせてくれるでしょう。

“私のもとに来なさい”  
(マタイ11,28).



空高く飛ぶために必要な「つばさ」

**イエスの招きを受け入れ、私たちも彼のもとに行きましょう。イエスは私たちの希望であり平和です。**

イエスの「愛の掟」を受け入れ、家庭、教会、職場、日々さまざまな機会に、侮辱されても許してこたえたりしてみましょう。

**壁ではなく橋を築き、困難にある人に手を差し伸べましょう。**

イエスの掟は、重荷どころか、空高く私たちが飛ぶために必要な「つばさ」となってくれるでしょう。

“疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう”(マタイ11,28).

“もういやだ！ どうしていつも僕が何かしてほしい時、誰もきいてくれないんだ？”家で僕が何度も怒ることで

す。町に残り、ただ歩き回ります。学校の友達は皆町から外に出かけました。でも僕は行きませんでした。別の夏の計画をたてたからです。

僕の悩みを解消するためにどうしようかと思っていたとき、習慣でもあるのですが、たまたま前を通る教会に入ることにしました。入ると同時に、特別な平和を感じ、涙があふれました。

どうして僕は最近怒ってばかりいるのだろうか？

イエスに文句を言いたくなり、本当にそうしました。僕の失敗を並べました。泣きながら、イエスには何でも言える、イエスなら聞いてくれる、と気づきました。“あなたは愛であることを知りました。僕はそれを信じ続けたいです。たとえ今の僕には難しくても”僕が教会のイエスの前で静かに祈っていたとき、自分が軽くなったように思えました。そしてミサが始まる時間になったことに気づきませんでした。誰かが僕の隣に座りました。顔をあげると、僕の両親が座っていました。抱きしめ、お互いに赦し合いました。イエスにまた心を打たれました。イエスに感謝するために、教会に残りました。両親と一緒に家に帰り、両親はジェラートを一緒に食べようと言ってくれました。